

F.P.JOURNE
Invenit et Fecit

オーナーズマニュアル - **Astronomic Souveraine**
独自の機構に基づいて設計されたデザイン



18の機能と複雑機構を搭載

Astronomic Souveraine

18の機能と複雑機構を搭載

2019年11月9日、オンリーウォッチで高い評価と大きな成功を取めた後、FPジュルヌはオークションに出品されたプロトタイプとは異なる製品版の「アストロノミック・スヴラン」を発表しました。トゥールビヨン、ミニッツリピーター機構が搭載されたこのステンレススティール製の複雑時計は、忙しい日々の中で忘れ去られてしまうことが多い特別な時間に星を愛でて天空に思いをはせることで、地球上における自分の位置を探し当てる事にもつながります。それは、古来より星を眺めることがごく自然に行われていた時代より続くもので、星を観測するための装置と同様に、「アストロノミック・スヴラン」は、天空を見つめ1つの窓を開ける代わりにその天体の動きと時をあらゆる角度から映し出してくれます。

このプロジェクトの原点は、紙用のゴミ箱に捨てられていた一人の男の子のデザイン画から始まります。それは、フランソワ・ポール・ジュルヌの息子であるシャルルが15年程前に描いた1枚の絵でした。その青年の手で自由な発想と独自の視点により描かれたデッサンはフランソワ・ポール・ジュルヌにアイデアを与えました。シャルル自身は時計師ではないのでこのアイデアを実現する事は出来ませんでした。それをジュルヌが形にする為、試行錯誤を重ね彼の理想の作品への追求は6年もの歳月をかけて行われたのです。当初は自動巻きにする案や搭載する複雑機構についても熟慮を重ねましたが、最終的には当初の案は白紙に戻ってしまいました。その後、より多くの機構が搭載可能な、手巻きのキャリバーがこの時計に採用されることになりました。そうすることで僅かな巻上げも十分なエネルギーに変えてすべての機構に供給されることを実証しました。また最終的には、シャルルが描いたデザイン画にあった文字盤上に太陽の動きを表すカーブを描いた窓が登場することになったのです。

この新作の開発には、フランソワ・ポール・ジュルヌの過去の作品がミュージズの役割を果たすことになりました。それは、科学的オブジェのコレクターのため1987年に製作された、惑星の動きを表す懐中時計でした。このユニークピースは、平均太陽時と恒星時、均時差、フルカレンダー、パワーリザーブを表示するトゥールビヨンでした。このモデルは非常に完成度の高いものでした。しかし、過去の作品にとられるあまり新たな挑戦を行わないのはナンセンスです。「アストロノミック・スヴラン」は、時代に即した現代的な機構やデザインと共にFPジュルヌらしい強い個性を持ち合わせていなければなりません。そこで、2つの香箱から安定したトルクを送り出し、完璧な等時性を保証するルモントゥール機構付トゥールビヨンを搭載したのです。

このように、「アストロノミック・スヴラン」の18Kローズゴールド製のムーブメントは、今までにない天文時計の新たな扉を開きました。そして、従来通り美しい装飾が施されています。ホワイトゴールド製文字盤と同様、インダイヤルはクルー・ド・パリのギョーシェ仕上げとNASAが所有する写真を複製した写実的な月を美しく際立たせています。3時位置には、ブルーの針で第二時間帯を表示する平均太陽時（または常用時）が表示されます。9時位置には星の観測を可能にする恒星時、その横には、平均太陽時の秒がディスクで表示されます。文字盤中央には分針、その下には最大約40時間のパワーリザーブ表示があります。これらの表示を司るように、文字盤上部にはブルーのフレーム装飾により、日の出と日の入りを読み取る事が出来ます。またメタルのカーテンにより日の長さを表示・調整されます。時計の裏側には、均時差表示、星座で囲まれた年次カレンダーが搭載されます。また、トゥールビヨンの細やかな動きもご覧いただけます。

さらにこのタイムピースは、時、クォーター、分をそれぞれに鳴らすミニッツリピーターを含む、18の機能と複雑機構を搭載しています。ケースを除いて758もの部品数から構成されているにもかかわらず、直径44 mm、ケース高13,80 mmという驚異的なサイズに収まっています。この作品は年間僅か数本しか製作できないため、受注生産となります。

操作方法

- 1 文字盤に太陽が見える場合、カレンダーを設定できます。
- 2 次に時刻を設定します。注意：時間設定は反時計回りのみで、逆方向には針を回さないでください。
- 3 次に月の満ち欠けを調整できます。

その他の表示については下記をご確認下さい。

スライドレバー

完全に停止するまで押し下げて、レバーから手を離す。
作動している間、ハンマーが時間、クォーター(15分)そして分を鳴らす。

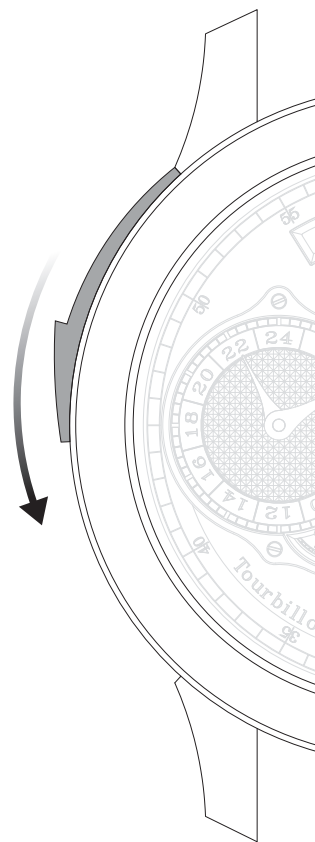
1つのハンマーが低音ゴングを打って時間を鳴らす。

時間のハンマーと分のハンマーが交互に打つことにより、クォーターが鳴らされる
(1クォーター=時間のハンマーの一打と分のハンマーの一打)。

分のハンマーは最大14分までを打つ。

留意点

日の出/日の入り、均時差、恒星時は、時刻と日付機構により機能するので、自動的に連動されます。



リューズ

ポジション 1

巻上げ

リューズがポジション1にある時に止まるまで前方に巻き上げる。

ポジション 2

日付設定

リューズを2の位置まで引き出し、時計回りに回して日付を設定します。

2月28日には日付修正が必要です。

注意！ 午後10時から午前4時の間に日付設定を行わないでください。

月の設定

リューズを2の位置まで引き出し、反時計回りに回します。

1回のジャンプは1日に相当します。

注意！ 午後10時から午前4時までは月設定は行わないで下さい。

ポジション 3

時刻合わせ

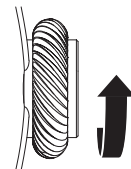
リューズをポジション3まで引き出し、反時計回りに回して時刻を合わせる。

タイムゾーン調整

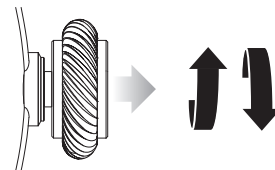
リューズをポジション3まで引き出し、時計回りに回してタイムゾーンを調整する。

注意!

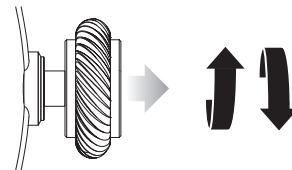
調整後はかならずリューズをポジション1まで押し戻してください。



ポジション1



ポジション2



ポジション3

機能と表示



時間、スモールセコンド、ムーンフェイズのインダイヤルはスティール製リング*で囲まれ、文字盤にネジで固定されています。

*特許取得済みのシステム

機能と表示

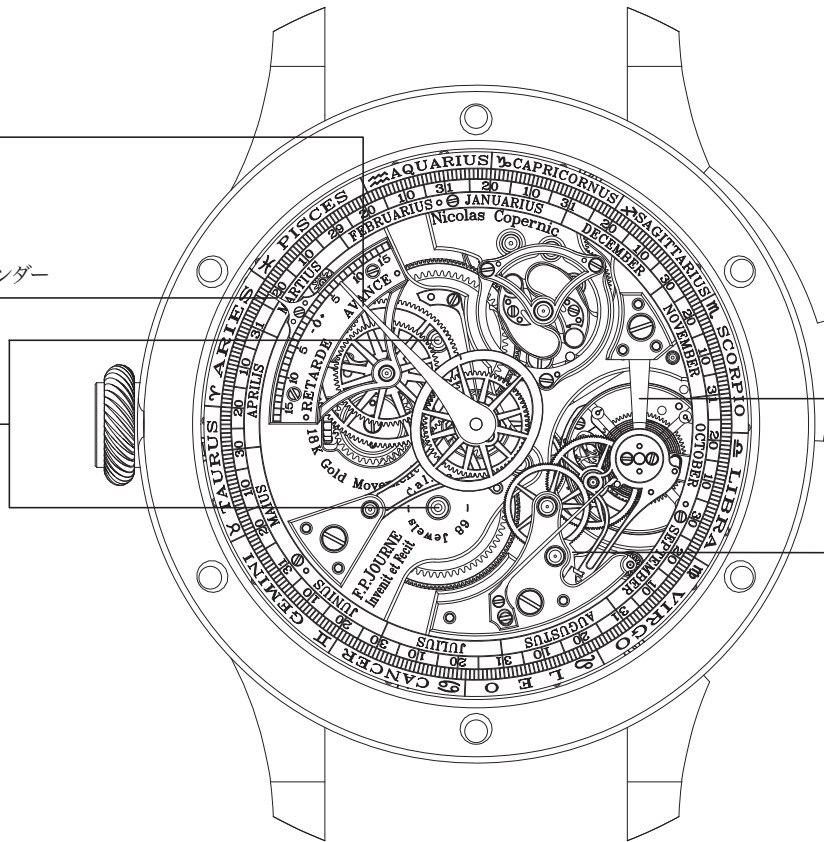
均時差

日付、アニュアルカレンダー

ツインバレル

60秒トゥールビヨン

「ルモントワール機構」



ムーブメント

キャリバー 1619

手巻き(全巻きにはリュースを34回転)

18Kローズゴールド製ムーブメント

ムーブメントのサイズ

ムーブメント直径：	37.00 mm
ケーシング直径：	36.40 mm
ムーブメント全高：	10.75 mm
巻き芯までの高さ：	4.59 mm
巻き芯のネジ部分の直径：	S1.20 mm

バランスホイール

4つのイナーシャウエイトが付いたバランスホイール

アナクロン フィリップカーブ付ヘアスプリング

固定式ヒゲ持ち受け

緩急針なし

ヘアスプリングはヒゲ持ちヘピンによって固定

ヘアスプリングはコレットヘピンによって伝統的に固定

振動数： 21,600 振動/時 (3Hz)

慣性： 11.00 mg*cm²

拘束角： 52°

振り角： 全巻き上げ水平姿勢： > 260°

24時間後水平姿勢： > 260°

主要な特徴

ルモントワール機構が付いた60秒トゥールビヨン
ミニッツリピーター
恒星時・分
2つのタイムゾーン
ムーンフェイズ
アニュアルカレンダー
均時差
日の出・日の入りの時間
ナチュラル・デッドビートセコンド
全ての調整をリュースで行う

表示

表側：

3時位置に時針と2つのタイムゾーン針
中心に配置された分針
12時位置に日の出・日の入り
9時位置に恒星時分針
6時位置にパワーリザーブインジケーター
5時位置にムーンフェイズ
7時位置に秒ディスク

裏側：

中心に均時差
10時位置にアニュアルカレンダー

脱進機

インラインレバー脱進機 - 15歯のガンギ車
90°フォークアンカー

パワーリザーブ

40 h

装飾

仕上げを施したブリッジ
仕上げを施したベースプレート
ネジは面取り、及び先端は研磨仕上げ
ピンの先端を球場に研磨仕上げ

ケース

スチール
ステンレススティール製 - 直径： 44 mm
ケース全高： 13.80 mm

部品点数

文字盤を除いたムーブメント単体 758
ケースにストラップを付けた状態 817
石数 68

